

令和7年3月 第28回入善町議会定例会

代表・一般質問要旨（届出順）

令和7年3月5日（水）議運決定

〔質問日 3月12日（水）〕

■代表質問

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
1	松澤 孝浩 (アクト)	<p>(1) 新年度予算について</p> <p>① 「ストップ人口減少！未来をはぐくむ新たな一歩」持続可能なまちづくり予算として編成された令和7年度予算は、「消滅可能性自治体」からの脱却に向けた新たな一歩を踏み出すための予算となっているものと思う。町長の目指す「まちづくり」を実現するための予算として、新年度の主な施策や事業は何か。</p> <p>② 新年度予算編成に向けて、職員から政策提案を募ったと聞くと、町長の狙いは何か。また、提案された内容はどうか。その中から新年度予算で新たに事業化したものは何か。</p>	①②町長
		<p>(2) 教育について</p> <p>① 少子化の進行に伴い、本町でも児童・生徒数の減少が顕著になってきたが、学校行事等に影響は出ていないのか。また、教育環境も大きく変化していると思うが、どのような対応を取っているのか。</p> <p>② 生徒数の減少により、部活動・クラブ活動の数は減少していないのか。また、生徒の選択肢を狭めることになっていないか。</p> <p>③ 児童・生徒数の減少により、学校施設の環境整備や管理に問題は出ていないのか。また、保護者の負担が増加しているのではないか。</p> <p>④ 入善町の令和5年度の出生数は63人、令和6年度は74人の見込みと聞いている。子育て支援に対する町長の取組みは高く評価するが、今なお、少子化の進行に歯止めがかからない状況である。入善町の将来像を考えた場合に、子どもたちにとって大切な教育環境とは何か、町長の考えを問う。</p> <p>⑤ 令和7年1月21日に「にゅうぜんまち中学生議会～13歳からの提言～」が開催された。その際、中学校の統合に関する提言があったようだが、それを聞かれた町長はどう思われたか。</p>	①～③教育長 ④～⑦町長

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
1	松澤 孝浩 (アクト)	<p>⑥ 昭和 50 年 4 月に開校した入善西中学校は、昨年 50 周年を迎えた。来年に桃李小学校が 30 周年を迎えると、町内の全ての小・中学校が統合から 30 年以上が経過したことになる。半世紀、あるいは 30 年以上が経過し、教育に求められるものや、児童・生徒の数が変化している現状を鑑みると、小・中学校の統廃合に向けた検討に早急に着手すべきだと思うが、町長の考えを問う。</p> <p>⑦ 統廃合の検討の際には、これまでの慣習にとらわれずに、小中一貫教育の導入についても検討してみてはどうか。</p>	
2	佐藤 一仁 (自民清流会)	<p>(1) 令和 7 年度予算について</p> <p>① 「消滅可能性自治体」から「持続可能なまち」になるために盛り込まれた事業とはどの事業か。</p> <p>② 新年度予算の特長として、職員からの 140 件を超える提案の中から 10 件に予算付けされた。10 件の案を事業化するにあたり、採択する基準はどのような点だったのか。この新しい試みの事業に、達成目標は設定されるのか。</p> <p>③ 旧役場庁舎の解体費用が計上されていない。今後どのように考えているのか。跡地の利用についての考えも伺いたい。</p> <p>(2) 働き方改革の取り組みについて</p> <p>① 働き方改革関連法案の施行以来、町では働き方改革にどのように取り組んできたのか。</p> <p>② 男子職員の育児休暇取得はどの程度か。</p> <p>③ 保育所や図書館、体育館など週末の出勤が必要な職場での年間の週末の出勤日数は何日程度か。また、有給休暇の取得や残業等の状況はどのようになっているか。</p> <p>④ 出先機関と庁舎内で有給休暇等の取得に差や違いが見受けられるようなら、人員配置の再考も必要になるものと思われるがいかがか。併せて、家族の看護や介護での休暇取得状況も伺いたい。</p>	<p>①～③町長</p> <p>①～④総務課長</p>
3	井田 義孝 (日本共産党)	<p>(1) 介護事業所への緊急支援について</p> <p>国から介護事業所に支払われる介護報酬の削減等により、町内の介護事業所は経営の危機にある。このままでは介護を必要とする町内の高齢者にサービスを提供できなくなるのではないかと強く懸念する。</p>	

発言順	質問議員 (会派名)	質問事項	答弁者
3	井田 義孝 (日本共産党)	① こぶしの庭やヘルパーステーションなど町内の事業所の実態をどのようにつかんでいるか。 ② 事業から撤退されないよう、ガソリン代など必要な支援を緊急に行うべきだ。 ③ 職員確保と離職防止のため恒常的な支援を（例えば夜勤手当や家賃補助など）。	①～③保険福祉課長
		(2) 入善駅エレベーター設置の見通しについて 新年度予算では、入善駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定委託料が計上されており、これは入善駅にエレベーター設置を目指すためとされている。 ① 町として、どのような計画でエレベーターを設置するつもりか。 ② 入善駅と同様の構造である滑川駅にエレベーターが設置された。跨線橋のかけ替えは必要ないのではないか。だとすればエレベーター設置にはどの程度の予算が必要だと考えるか。 ③ 仮に国の支援がなくても、町独自でエレベーターを設置するつもりはあるか。	①～③町長
		(3) 機械の入らない私道の除雪について 町内各地には、融雪装置もない、町道ではないので除雪車も入らない袋小路のような私道が多数ある。町道ではないので除雪の優先順位に上らないのは理解するが、住宅の位置いかんで100%自力除雪となるのは余りに不公平ではないか。また、大雪の際、高齢者の生活安全の確保、災害や救急時の安全確保上も問題だと考える。 ① 当然各地区ごとに相談しながらになるが、町としてはどのような対策があるかと考えるか。 ② 各地区民による除雪への機械購入補助など、支援を拡充すべきだ。	①②建設課長

■一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	中瀬 淳哉 (一括方式)	(1) 新年度の結婚・子育て支援について ① 当町の婚活において、イベントでのカップル数は非常に多い反面、それがなかなか成婚に結び付いていないということが課題だと思うが、その課題に対して新年度ではどのように解決していくのか。	①～③結婚・子育て応援課長

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
4	中瀬 淳哉 (一括方式)	<p>② こども家庭センター設置に伴う新年度事業はどのようなものがあるのか。また、このセンター設置に重要となる統括支援員はどのような方になるのか。そして、こども家庭センター事業のうち母子保健部門は元気わくわく健康課が、児童福祉部門は結婚・子育て応援課が、また障がいのある子どもや医療については保険福祉課と別々の課が担当することになっているが、連携が取れるのか。</p> <p>③ ママパパプレゼント事業においてもファミリーサポートセンターの利用券が支給されるが、ファミリーサポートセンターをテコ入れ、強化すべきと考えるがどうか。</p> <p>④ 小中学校体育館に空調設備を設置すべきだ。</p>	④教育委員会 事務局長
		<p>(2) 空き家対策と移住定住について</p> <p>① 入善町の相続放棄の現状はどうか。それによって空き家は発生しているのか、管理や解体など発生した空き家はどうなるのか。</p> <p>② 農地と宅地のあり方を町はどのように考えているのか。</p> <p>③ 既存の空き地により価値を設けるため、宅地購入者補助の限度額を引き上げるべきと考えるがどうか。</p> <p>④ 宅地を農地に戻すための支援を創設してはどうか。</p> <p>⑤ 「外国人の方でも誰でもいいので、空き家を売ってほしい」という方が増えてきているとのことだ。町の考えはどうか。</p> <p>⑥ 空き家実態調査は行わないのか。</p> <p>⑦ 町は空き家を活用して新規創業する方に補助をしている。新年度からは新店舗等立地応援事業が町内一円になることから廃止されるようだが、中心市街地以外のエリアに対しては補助する業者を指定するべきではないと考えるがどうか。</p> <p>⑧ 新年度より、学生の西町定住促進住宅入居を支援することだが、この施策の目的は何か。またどのような効果を期待しているのか。交通費の支援は考えないのか。空き家を改装して、学生向けのシェアハウスを整備してもいいのではないのか。</p> <p>⑨ 空き家の活用を推進するため、不動産業を営む事業者との連携をすべきと考えるがどうか。</p>	<p>①税務課長</p> <p>②③住まい・まちづくり課長</p> <p>④がんばる農政課長</p> <p>⑤⑥住まい・まちづくり課長</p> <p>⑦キラキラ商工観光課長</p> <p>⑧⑨住まい・まちづくり課長</p>

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
(欠席)	五十里 国明 (分割方式) ※欠席のため、 一般質問は 行いません。	<p>(1) 海洋深層水取水施設取水棟建設工事の随意契約について</p> <p>① 取水ピット SP-4 型 L=23M の鋼矢板打込工事は本町土木建設業者に発注すべきだったと思うが、どうか。</p> <p>② 取水ピット工事と取水棟建設工事は分離発注しても障害が無いので、地元業者に発注すべきと思うが、どうか。</p> <p>③ 本員の随意契約の理解度が正しいかどうか、当局の答弁を願いたい。</p> <p>④ 推進工事、取水管制作、取水管敷設の随意契約は、町長自ら決定された随意契約か。</p> <p>⑤ 随意契約は、工事の実績のある業者と随意契約をいたしましたとの説明だが、町長は本町の業者の能力が低いとの判断があったので、清水建設(株)と随意契約をされたと町内業者間で受け取られているが、それに対する答弁を願いたい。</p> <p>⑥ これまで、取水棟建設 560,000 千円、推進工事 450,000 千円、取水管制作 1,030,000 千円、取水管敷設 750,000 千円、計 2,790,000 千円の多額の随意契約をされた。この監理はもちろん当局がすると思うが、この監理者として本町から常駐させる職員は何名を考えているのか。また、製品確認等の経費は、清水建設(株)とどのような話し合いになっているのか答弁願いたい。</p> <p>⑦ 随意契約された結果後であるから、契約物件の資料提供を後日請求したいが、どうか。</p>	<p>①②キラキラ 商工観光課 長</p> <p>③～⑤副町長</p> <p>⑥キラキラ商 工観光課長</p> <p>⑦財政課長</p>
		<p>(2) 除雪について</p> <p>① オペレーターの年代は「65 歳以上」が 23.9%で最も多く、除雪車の操縦を担う「技術者、技能者」は 13 年度から 6.2 ポイント増えている。本町ではオペレーター数は足りているか。</p> <p>② オペレーターを育成するための大型特殊免許取得に対する補助金を出すことを考えるべきと思うが、どうか。</p> <p>③ 本町で 2030 年までの除雪車両は足りているか、車検証で大まかな把握はつかめると思うが、どうか。</p> <p>④ 除雪業者は、毎日の除雪後、除雪コースの状況把握の話し合い、翌朝の出動に対する車両整備等で毎日一時間以上を要しているが、この時間は実働時間に加算されていない。この時間の必要性を認め、実働時間に加算すべきと思うが、どうか。</p>	<p>①～④建設課 長</p>

〔質問日 3月14日（金）〕

■一般質問

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	田中 伸一 (一括方式)	<p>(1) 自然災害に備えた危機管理と防災・減災について</p> <p>① 昨年 9 月 29 日に実施された富山県合同入善町総合防災訓練の検証と訓練の成果を踏まえて、今後どのように取り組んで行くのか。</p> <p>② 地震発生は現在の科学でも、想定が非常に困難だ。巨大地震が発生して被害が生じた場合、ライフラインの早期の確保、復旧とともに、避難所の開設、運営が重要になってくる。 避難所の資機材として町の防災備蓄品はどのように整備されているのか。また、災害関連死防止のために、避難所の就寝環境の向上を今後どのようにして整え、推進していくのか。</p> <p>③ 災害への備えとして、避難所の衛生環境改善のためにトイレレーラーの導入が有効な手段と考えるが、3点について伺う。 1. トイレレーラー導入計画に至る経過について 2. トイレレーラーの災害時以外の活用法について 3. トイレレーラー新規配備の効果について</p> <p>④ 昨年 1 月の能登半島地震で、木造を中心とする住宅約 3 万棟が全半壊した。現行耐震基準で建てられた木造住宅に致命的な損傷は少なかったが、古い家屋に甚大な被害が発生し、耐震化の必要性が指摘されている。 町の木造住宅耐震改修等支援事業のこれまでの実績と現状をどう分析し、これからどう改善していくのか。</p> <p>⑤ 平成 30 年 3 月に入善町防災マップ津波編が作成されたが、昨年 1 月の能登半島地震発生後、町民は地震時に予想される津波の高さや防災関連施設の位置などを地図上に表したハザードマップの更新の必要性を強く感じている。更新の時期と内容はどうなるのか。最新情報を取り入れて再度全戸配布したらどうか。</p>	<p>①～③総務課長</p> <p>④住まい・まちづくり課長</p> <p>⑤総務課長</p>

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	田中 伸一 (一括方式)	<p>⑥ 能登半島地震の津波は3分で富山港に到達した。入善町には7分で10.2mの最大津波が到達すると予想されている。現在、浄化センターは周囲に潮害防備保安林の備えもなく、海拔約5mの低地盤に立地しているが津波被害を受けた場合には機能が停止し、住民生活に影響すると考えるがどうか。また、浄化センターの防災機能の強化が必要ではないか。</p> <p>⑦ 近年の気候変動の影響による平均気温上昇を踏まえた熱中症対策の観点から、災害時に指定避難先となる学校体育館への冷房機器の設置を推進していくことが必要であると考えが見解を伺う。</p>	<p>⑥水道課長</p> <p>⑦教育委員会 事務局長</p>
		<p>(2) 通学路の交通安全対策について</p> <p>① あいの風とやま鉄道が2024年11月に田中踏切の交通量調査を一日実施しているが、検証結果をどのように捉えているのか。</p> <p>② 改正踏切道改良促進法に基づき、通学路の安全対策として踏切の拡幅を求めている田中踏切が改良指定されたが、進捗状況はどうか。</p>	①②建設課長
		<p>(3) 下水道の維持管理体制について</p> <p>① 町は平成12年より下水道を供用開始し、25年が経過した。現在、約370kmに及び下水道管路の保守点検管理はどのように実施しているのか。また今後、下水道管路の適正管理に向けた耐震化、長寿命化についてどのように取り組んで行くのか。</p>	①水道課長
6	松田 俊弘 (一括方式)	<p>(1) 財政運営と新年度予算について</p> <p>① 町の歳出に占める福祉への支出割合は、平成25年度から令和4年度までの10年間の平均で10.0%と、上市町の13.7%や立山町13.7%と比べると少ない。逆に土木建設費への支出の割合は10年間の平均で入善町が21.9%と、上市町の11.5%、立山町の13.7%より極端に高い。公共事業優先でなく、住民の暮らしと福祉優先の財政運営に改めるべきだ。</p> <p>② 今年度予算でも来年度予算でも、基金から12億円以上を繰り入れる計画になっている。このような予算編成を今後も繰り返せば、基金は枯渇しかねない。当局は、基金残高をどのようにしようと考えているのか。</p>	①～③財政課長

発言順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	松田 俊弘 (一括方式)	③ 政府は、全自治体の基幹情報システムを統一・標準化するとして令和7年度中にシステム改修を行うよう求めている。国は標準準拠システム移行によって移行前より運用コストを3割削減できるとしているが、実態はどうか。	
		<p>(2) コメ不足について</p> <p>① 農水省の資料では、2023年6月末までの1年間の主食用米の需要量705万tに対し、収穫量は661万tにとどまり、44万tも足りていない。最近の米価高騰は、生産が需要に追い付いていないことが主な要因と考えるがどうか。</p> <p>② 帝国データバンクの調査では、昨年1月～8月にコメ農家の倒産・廃業が過去最多で前年比2割増に急増しているとしている。こうしたこともコメ不足に影響していると考え。生産資材の高騰などで農家は疲弊しており、安定的なコメの生産のために、政府が農家の所得を補償するよう国に求めていくべきだ。</p> <p>③ 町内では20近いの集落営農が組織されてきたが、担い手不足が心配される。作業の効率化等のための機械類の導入に町は積極的に支援すべきだ。</p>	①～③がんばる農政課長
		<p>(3) 災害対策について</p> <p>① 町はトイレトレーラの導入や、避難所の開錠に暗証番号鍵ボックスの設置など、防災対策の強化を進めているが、それに対応して防災計画の見直しも必要になるが見直しはどこまで進んでいるのか。</p> <p>② 魚津断層帯は県の被害想定調査の対象となっているのか。</p> <p>③ 政府は、地方自治体がハザードマップの作成の際、津波の浸水予測計算上は浸水しないが、予測の不確実性を考慮して浸水の恐れのある区域＝バッファゾーンの設定を推奨している。そうしたことは新たなマップ作りに反映されているのか。</p> <p>④ 町の防災担当部署は総務課の防災係となっているが、総務課から独立した防災危機管理室などを設けるべきではないか。</p>	①～④総務課長